

2025年9月18日
株式会社ニッピ

住友ファーマ株式会社が当社ラミニン製品を使用した 非自己iPS細胞由来ドーパミン神経前駆細胞の製造販売承認申請を実施

2025年8月5日、住友ファーマ株式会社（大阪府大阪市、木村徹 代表取締役社長）および株式会社 RACTHERA（東京都中央区、池田篤史 代表取締役社長）（以下、あわせて「同社」）より、『非自己 iPS細胞由来ドーパミン神経前駆細胞（以下「本製品」）の国内における製造販売承認申請を行った』との報道発表がありました。

（発表内容はこちら：<https://www.sumitomo-pharma.co.jp/news/20250805-2.html>）

株式会社ニッピ（東京都足立区、代表取締役社長：伊藤裕子、以下「当社」）は、同社より開発初期からご依頼を受け、iPS細胞を効率的に維持・拡大培養および分化誘導できる細胞接着基材として、当社が製造し関連会社である株式会社マトリクソーム（大阪府吹田市、代表取締役社長：山本卓司）が販売するラミニン製品を提供し、本製品の開発にご活用いただいております。

今回の発表を受け、本製品の早期の製造販売承認を願うとともに、当社としても引き続き安全な製品を安定的に供給できるよう努めてまいります。

当社は、今後も人々の健康に貢献するため、製品開発に取り組んでまいります。

【参考リンク】

- 当社製品紹介ページ（ラミニン製品）：<https://www.nippi-inc.co.jp/business/bio/ips/>
- 株式会社マトリクソーム コーポレートサイト：<https://matrixome.co.jp/>

【お問い合わせ先】

本記事および製品に関するお問い合わせ：

[\[お問い合わせフォーム\]](#)

以 上